



SOKA University Discover your potential

2025 年度 創価大学大学院

博士後期課程

[入試要項]

経済学研究科

法学研究科

文学研究科

教育学研究科

経済学専攻

法学専攻

英文学専攻

社会学専攻

人文学専攻

教育学専攻

内容

I	<入学試験概要> 博士後期課程	3
1.	募集研究科・専攻・募集定員	3
2.	入学試験日程	3
3.	出願の流れ・方法	4
4.	出願上の注意事項	5
5.	試験会場	6
6.	合格発表	6
7.	入学手続	6
	【共通の注意事項】	7
II-1	<入学試験制度> 博士後期課程：進学試験・進学選考試験	8
II-2	<入学試験制度> 博士後期課程：一般入学試験	10
III	入学試験 【共通事項】 博士後期課程	13
1.	選考試験科目・時間帯	13
	経済学研究科 経済学専攻	13
	法学研究科 法律学専攻	15
	文学研究科 英文学専攻	16
	文学研究科 社会学専攻	16
	文学研究科 人文学専攻	17
	教育学研究科 教育学専攻	17
2.	各研究科・担当教員一覧（2024 年度参考）	18
IV	その他	20
	大学院教員の紹介	22

I <入学試験概要> 博士後期課程

1. 募集研究科・専攻・募集定員

研究科	専攻	募集定員
		博士後期課程
経済学研究科	経済学専攻	5名
法学研究科	法律学専攻	3名
文学研究科	英文学専攻	5名
	社会学専攻	5名
	人文学専攻	4名
教育学研究科	教育学専攻	2名

※ 上記の募集定員は、進学選考試験・一般入試の入試制度を合わせた全体の募集人数です。

2. 入学試験日程

【博士後期課程】<2025年春学期（4月）入学入試日程>

入試制度	対象	出願期間	選考試験日	合格発表日	手続期間
進学選考	経済学研究科 法学研究科	2024年 12月2日(月) ～12月20日(水)	2025年 2月8日(土)	2025年 2月14日(金) 11:00	2025年 2月24日(月) ～3月3日(月)
一般	文学研究科 教育学研究科				

3. 出願の流れ・方法

STEP1

WEB 出願システム The Admission Office (TAO) にアクセス

出願および出願書類の提出は、The Admission Office（以下、TAO）から行ってください。

[創価大学大学院 WEB 出願ページ \(TAO\)](#)

ユーザー登録等の利用方法の詳細については、以下マニュアルをご参照ください。

[TAO 利用マニュアル](#)



The Admissions Office
Offering the choice of colleges from the world map

STEP2

出願書類の準備

各研究科によって必要な書類が一部異なります。詳細は「Ⅲ学内選考・特別学内選考・一般入学試験【共通事項】博士前期／修士課程」をご確認ください。

STEP3

受験料（33,000 円+決済手数料）のお支払い

クレジットカード・ペイジー・PayPal による支払いが可能です。

決済手数料については、お手数ですがご負担をお願いします。

決済手段によって決済手数料が異なります。

VISA



STEP4

出願書類を TAO にアップロード

WEB 出願システム TAO より、必要な出願書類をアップロードしてください。出願書類の郵送は不要です。
成績証明書・卒業証明書は合格後に原本を提示または提出いただけます。

STEP5

受験票をダウンロード

TAO 上に受験票が発行されますので、入試当日に印刷をしてお持ちください。

（オンライン面接のみの場合は、印刷不要）

- 問い合わせ先：創価大学 学事部学事第 2 課大学院係

TEL: 042-691-9423 Email: gsoffice@soka.ac.jp

- 窓口受付時間：平日午前 9 時 30 分～午後 5 時・土曜午前 9 時 30 分～12 時

※12 月下旬～1 月上旬の冬季休業期間中は、窓口受付ができませんのでご注意ください。

（休業日程の詳細はホームページ上でご確認ください）

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類等に不備があるもの、及び出願期間を過ぎて提出されたものは、選考の対象とはしません。
- (2) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における本学入学試験の出願を不受理とする（入学検定料の返金を行わない）
 - ・当該年度における本学入学試験の結果を無効とする
- (3) 出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す証拠が発見された場合には、合格後や入学後であっても遡って、合格・入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 受理された出願書類の記載事項についての変更及び、出願受理後の研究科・専攻の志望の変更は認めません。
- (5) 一度支払われた検定料は、原則として返還しません。
- (6) 提出された各種証明書等が、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳を添付すること。
(国際平和学研究科及び文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修については、英語翻訳のみ受付を可能とする。日本語のみの書類についても、必ず英訳を添付すること)
- (7) 出願書類が受理されると、WEB 出願システム TAO 上にて、受験票が PDF 形式で発行されます。受験票は各自印刷の上、受験当日にお持ちください。
- (8) 成績証明書・卒業証明書の原本は、合格後に窓口へ提出または提示される必要があります。

※指導教員の決定について

- ①開講科目・担当教員一覧に注印がついている教員、兼任の記載がある教員、客員教授・兼任講師は、指導教員にすることはできません（博士前期／修士課程、博士後期課程とも）
- ②博士後期課程の指導教員の詳細は、指導教員一覧ページをご確認下さい。

5. 試験会場

創価大学中央教育棟（東京都八王子市丹木町 1-236）

- 試験開始 20 分前までに指定された試験会場（フロア）に集合して下さい。
- 試験教室等の詳細は、現地に掲示致します。

6. 合格発表

合否については、合格発表日の午前 11 時に WEB 出願システム「The Admission Office (TAO)」にて発表いたします。

- ①国内在住の合格者には、「合格通知書・入学案内手続き」を発表日当日に限り、合格通知書及び、入学手続き書類を窓口でお渡しします。
- ②当日書類を受け取られなかった方については、翌営業日以降、当該書類をご自宅へ郵送致します。
- ③海外在住の合格者には後日、メール等にて各種ご案内をお送り致します。
- ④合否に関する、電話・メール・郵便等での問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学手続・納入をして下さい。ただし詳細については、合格発表の際に文書で通知します。

【博士後期課程】

入学金、学費等の納入及び入学手続書類の提出を一括して行います。

項 目	納 入 額	対 象 者
入 学 金	免 除	本学博士前期／修士課程修了者
	200,000 円	上記以外

(2024 年度学費)

項 目	一括払い	2 回分割払い	
	入学手続時 (年間学費)	入学手続時 (半年分学費)	秋学期納入時 (半年分学費)
授 業 料	510,000 円	255,000 円	255,000 円
合 計	510,000 円	255,000 円	255,000 円

(2024 年度学費)

【共通の注意事項】

- ① 納入期間内に手続を行わない場合は、合格を取り消します。
- ② 授業料等は、手続期間内に必ず完納して下さい。春学期入学の場合の納入回数は、1回払い（入学手続時に年間学費の一括納入）又は、2回分割払い（春学期半年分・秋学期半年分の分割納入）が選択できます。秋学期入学の場合の納入回数は、半年分の学費の1回払いのみです。
- ③ 入学手続後、事情により入学を辞退する場合があっても入学金は返還しません。事情により入学を辞退する場合は、入学金を除く授業料等を返還します。但し、入学式の前日までに届け出のあった場合に限ります。

Ⅱ-1 <入学試験制度> 博士後期課程：進学試験・進学選考試験

1. 出願資格

本学大学院博士前期課程を 2024 年度修了または修了見込の者で、同一専攻の後期課程に進学を希望する者。

* 大学院での学業成績が、G P A 3.3 以上で、2024 年 3 月修了見込の者。ただし、2024 年 9 月に修了する者については出願を許可する。

2. 出願書類・選考料

※ 出願書類は全てウェブ出願システム The Admission Office (TAO)を経由して提出してください。個別メール等での提出は受付でき兼ねます。

※ 本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「文系大学院 入試情報」→「出願書類」からダウンロードしてください。

種類	出願書類及び注意事項
A	顔写真のデータ * 最近 3 ヶ月以内に撮影した顔写真で、3 cm × 4 cm 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 * WEB 出願システム TAO 上で登録すること。
B	出身大学の成績証明書の写し
C	創価大学大学院（博士前期/修士課程）の成績証明書の写し
D-1	志望理由書および入学後の研究計画 * 本学所定の用紙（D-1 票）を使用すること。
E	推薦書（任意提出） 推薦書の提出を希望する者は、本学所定の用紙（F-1 票）を使用して推薦書の作成を推薦者（指導教授）に依頼すること。 なお、「推薦書」（F-2 票）は、前期課程の指導教授と後期課程の希望指導教授が異なる場合に、前期課程の指導教授に作成を依頼して下さい。（提出については任意） 推薦書提出の手順は、以下の通り。 ① 受験者は推薦者のメールアドレスを WEB 出願システム TAO 上に登録する ② 推薦者に推薦状提出フォームがメールで自動配信される ③ 推薦者は届いたメールに記載されたリンクにアクセスし、受験者の推薦書（PDF ファイル）をアップロードする

F	英語能力証明書類（経済学研究科のみ） * 経済学研究科に出願する者は、外国語の筆記試験を実施しない代わりに、所定の英語能力証明書類を提出すること。 ・ 提出可能な英語能力証明書類：TOEFL、TOEIC、TOEIC-IP、IELTS * なお、出願時より2年以内にTOEFL iBT及びIELTSを受験したことがある場合、実施機関を通じて本学に直接スコアを提出することができます。 ■ TOEFL iBT：ETS ウェブサイトにて大学コード「B413」を選択してください。 ■ IELTS：IELTS 試験実施機関に問い合わせの上、大学名「Soka University Graduate School」宛にスコアを提出するようご依頼ください。 * 英語を母語とする受験者は「高校及び大学の卒業証明書」を提出することによって、上記書類の提出を免除する場合がある。ただし、高校・大学の教育が英語で実施されたことが卒業証明書から判定できない場合、受験者が卒業・終了した教育機関が発行する「英語で教育を受けたことが明記された証明書」を添付すること。
I	進学願 * 本学所定の用紙（I票）を使用すること。
検定料	検定料 33,000 円+決済手数料 * クレジットカード、ペイジー、またはペイパルによる支払い * 決済手段によって決済手数料は異なります。決済手数料はお手数ですが、各自ご負担をお願いします。

Ⅱ-2 ＜入学試験制度＞ 博士後期課程：一般入学試験

1. 出願資格

- (1) 修士の学位を有する者、または 2024 年度大学院修士課程修了見込みの者。
- (2) 専門職学位を有する者、または 2024 年度専門職大学院修了見込みの者。
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- (7) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者。

※(4)から(9)の資格により出願を希望する者について

- ①出願時に資格審査を行います。
- ②所定の出願書類に加えて「出願資格認定申請書」(G 票)、「出願資格認定申請理由書」(H 票)を提出して下さい。

2. 出願書類・検定料

※本学所定の出願書類については、文系大学院ホームページ「入試情報」→「出願書類」からプリントアウトすること。

種類	出願書類及び注意事項
A	顔写真のデータ ＊最近 3 ヶ月以内に撮影した顔写真で、3 cm×4 cm 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 ＊WEB 出願システム TAO 上で登録すること。
B	出身大学の成績証明書の写し ＊全学年にわたるもの。出身大学で申請すること。
C-1	出身大学院（博士前期課程）の成績証明書の写し ＊出身大学院で申請すること。
C-2	出身大学院（博士前期課程）の修了(見込)証明書（博士前期／修士課程）の写し ＊出身大学院で申請すること。修士の証明を含むこと。 ＊修了見込証明書を提出した者は、修了後すみやかに卒業証明書を提出すること。（卒業証明書が発行されない場合は「 C－3 学位記の写し 」を提出すること）
C－3	学位記の写し ＊学位記を取得したことを証明するもの。修了証明書に明記されている場合は、改めて提出する必要はない。また、学士号取得を証明するものがない場合は、出身大学の学長等による大学院への進学資格を証明する書類を提出すること。
D	志望理由書および入学後の研究計画 ＊本学所定の用紙（D 票）を使用すること。 ＊国際言語教育専攻英語教育専修及び国際平和学研究科については、指定された書式でテーマに応じたエッセイを作成すること（詳細は p.17～p.21 を参照）
E	推薦書（任意提出） 推薦書の提出を希望する者は、本学所定の用紙（E 票）を使用して推薦書の作成を推薦者に依頼すること。 推薦書提出の手順は、以下の通り。 ① 受験者は推薦者のメールアドレスを WEB 出願システム TAO 上に登録する ② 推薦者に推薦状提出フォームがメールで自動配信される 推薦者は届いたメールに記載されたリンクにアクセスし、受験者の推薦書（PDF ファイル）をアップロードする

F	英語能力証明書類（経済学研究科のみ） * 経済学研究科に出願する者は、外国語の筆記試験を実施しない代わりに、所定の英語能力証明書類を提出すること。 ・ 提出可能な英語能力証明書類：TOEFL、TOEIC、TOEIC-IP、IELTS * なお、出願時より2年以内にTOEFL iBT及びIELTSを受験したことがある場合、実施機関を通じて本学に直接スコアを提出することができます。 ■ TOEFL iBT：ETS ウェブサイトにて大学コード「B413」を選択してください。 ■ IELTS：IELTS 試験実施機関に問い合わせの上、大学名「Soka University Graduate School」宛にスコアを提出するようご依頼ください。 * 英語を母語とする受験者は「高校及び大学の卒業証明書」を提出することによって、上記書類の提出を免除する場合がある。ただし、高校・大学の教育が英語で実施されたことが卒業証明書から判定できない場合、受験者が卒業・終了した教育機関が発行する「英語で教育を受けたことが明記された証明書」を添付すること。
J	修士論文又はリサーチペーパー1部（該当者のみ） * 修士課程修了（見込）の者のみ提出すること。（本学大学院修了の者は提出不要）
K	志望科目に関わるレポート（該当者のみ） * 法科大学院修了（見込）の者のみ提出すること。 * 7,000 字以上
L	修士論文等の要旨 4,000 字以内。 （人文学専攻・教育学専攻出願者は日本語で書いたものを提出すること）
M	受験承諾書（該当者のみ） 現在、フルタイムで在職している場合、所属長に本学博士後期課程への出願に関して、事前に承諾を得て任意様式の承諾書を提出すること
検定料	検定料 33,000 円+決済手数料 * クレジットカード、ペイジー、またはペイパルによる支払い * 決済手段によって決済手数料は異なります。決済手数料はお手数ですが、各自ご負担をお願いします。

Ⅲ 入学試験 【共通事項】 博士後期課程

1. 選考試験科目・時間帯

進学資格試験・進学選考試験・一般入学試験では、専攻により選考方法が異なる場合があるので注意してください。

経済学研究科 経済学専攻

【進学資格試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目 ①	出願時に 1 科目選択	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済史、財政学、グローバル経済論、のうちから 1 科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目 ②	出願時に 1 科目選択	経済学専修でこれまで履修した選択科目・選択必修科目の中から 1 科目選択	
	口頭試問	—	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～
経営学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目 ①	出願時に 1 科目選択	ビジネス・エコノミクス、管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論のうちから 1 科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目 ②	出願時に 1 科目選択	経営学専修でこれまで履修した選択科目・選択必修科目の中から 1 科目選択	
	口頭試問	—	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～

【一般入学試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
経済学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目①	出願時に 1 科目選択	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済史、財政学、グローバル経済論のうちから 1 科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目②	出願時に 1 科目選択	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、経済史、財政学、グローバル経済論のうちから 1 科目選択（専門科目①と同じ科目を選ぶこともできます。）	
	口頭試問	—	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～
経営学専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	専門科目①	出願時に 1 科目選択	ビジネス・エコノミクス、管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論のうちから 1 科目選択	10：30～ 12：00
	専門科目②	出願時に 1 科目選択	ビジネス・エコノミクス、管理会計、人的資源管理論、経営管理論、財務管理論のうちから 1 科目選択（専門科目①と同じ科目を選ぶこともできます。）	
	口頭試問	—	（学位論文を完成させる能力とコア科目の体系的基礎知識の有無のチェック）	13：00～

法学研究科 法律学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	博士前期 修了形態	試験科目			試験時間
		科目群	選択方法	科目名	
—	修士論文作成	外国語	出願時に 1科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択 (辞書使用不可)	10:30～ 12:00
		口頭 試問	—	(専門科目を中心として)	13:00～
		* 修士論文に対する評価を行い、これを合否判定の参考とする。			
	(特定の課題についての 研究の成果) リサーチペーパー作成	外国語	出願時に 1科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択 (辞書使用不可)	10:30～ 12:00
		口頭 試問	—	(専門科目を中心として)	13:00～
		* リサーチペーパー (特定の課題についての研究成果) に対する評価を行い、これを合否判定の参考とする。			
	法科大学院修了	外国語	出願時に 1科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルのうちから1科目選択 (辞書使用不可)	10:30～ 12:00
		口頭 試問	—	(専門科目を中心として)	13:00～
		* 志望科目に係わるレポートを合否判定の参考とする。			

※ 外国人が受験する場合には、外国語選択科目として日本語を追加することがある。

文学研究科 英文学専攻

【進学選考試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学専修	口頭試問	—	(専門科目を中心として)	13:00～
	書類選考	—	修士論文またはそれに相当する業績	—

【一般入学試験】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
英語英米文学 専修	外国語	—	英語	10:30 ～ 12:00
	口頭 試問	—	(専門科目を中心として)	13:00 ～
	書類 選考	—	修士論文またはそれに相当する業績	—

※ 出願前に、自分の興味・研究テーマに近い分野の教員と連絡を取ること。

(入試窓口を通じて連絡を取ってください)

文学研究科 社会学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
グローバル・ス タディーズ専修	外国語	出願時に1科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語のうちから1 科目選択(辞書使用不可)	11:00～ 12:00
	口頭試問	—	(専門科目を中心として)	13:00～

文学研究科 人文学専攻

【進学選考試験・一般入試共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
哲学歴史学専修	外国語	出願時に 2科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから2科目を選択。ただし、日本史分野の志願者は、そのうちの1ヶ国語を古文書学に置き換えることができる。（辞書使用不可）	10：30～ 12：00
	口頭 試問	—	（専門科目を中心として）	13：00～
日本文学日本語学 専修	専門 科目	—	以下の①②を解答する。 ①専修共通問題1問 ②専修ごとの選択問題1問（受験者の研究希望分野を考慮して出題する）	10：30～ 12：00
	口頭 試問	—	（専門科目を中心として）	13：00～
仏教学専修	外国語	出願時に 2科目選択	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語のうちから2科目を選択。（辞書使用不可）	10：30～ 12：00
	口頭 試問	—	（専門科目を中心として）	13：00～

※ 外国人が受験する場合には、母語以外の2ヶ国語を選択することとし、選択科目に日本語を追加することがある。

教育学研究科 教育学専攻

【進学選考試験・一般入学試験共通】

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
—	外国語	—	英語（辞書使用不可）	10：30～ 12：00
	口頭試問	—	（専門科目を中心として）	13：00～

2. 各研究科・担当教員一覧（2024 年度参考）

■ 注の説明

注 1：2024 年度末をもって退職となり、2025 年度より担当しない予定です。

注 2：2025 年度末をもって退職となり、2026 年度より担当しない予定です。

注 3：2026 年度末をもって退職となり、2027 年度より担当しない予定です。

■ 指導教授について

備考欄に注印がついている教員及び客員教授・兼任講師については指導教授にすることができません。

● 経済学研究科

専攻	専修	職名	氏名	専門	備考
経済学	経済学	教授	浅井 学	計量経済学	
		教授	神立 孝一	日本経済史	注 3
		教授	勘坂 純市	西洋経済史	
		教授	齋藤 之美	国際貿易論	
		教授	杉本 一郎	グローバル経済論	
		教授	高木 功	グローバル経済論	
	経営学	教授	天谷 永	ビジネス・エコノミクス	
		教授	栗山 直樹	人的資源管理論	
		教授	國島 弘行	経営管理論	注 3
		教授	中村 みゆき	財務管理論	
		教授	平岡 秀福	管理会計	

● 法学研究科

専攻	専修	職名	氏名	専門	備考
法律学	—	教授	朝賀 広伸	行政法	
		教授	飯田 順三	アジア法	
		教授	尹 龍澤	行政法	注 1
		教授	加賀 譲治	企業法	注 1
		教授	黒木 松男	企業法	注 1
		教授	小嶋 明美	民事訴訟法	注 1
		教授	小島 信泰	法史学	
		教授	土井 美德	政治学	
		教授	松田 佳久	民法	
		教授	宮崎 淳	民法	
		教授	山田 隆司	憲法	

● 文学研究科

専攻	専修	職名	氏名	専門	備考
		教授	大野 久美	米文学	
		教授	寒河江 光徳	比較文芸論	
		教授	高橋 正	英語学／英語教育学	注 2
		教授	藤本 和子	英語学／英語教育学	
		教授	R. Stroupe	英語教育学	
社会学	グローバル・スタディーズ	教授	井上 大介	比較文化	
		教授	江口 満	ロシア・ユーラシア文化	注 1
		教授	小林 和夫	現代社会学	
		教授	高橋 強	中国文化	注 1
		教授	林 亮	国際社会論／東アジア社会研究	注 2
		教授	森 幸雄	都市社会学	注 2
人文学	哲学歴史学	教授	伊藤 貴雄	哲学史	
		教授	坂井 孝一	日本中世史	
		教授	季武 嘉也	日本近代史	注 2
		教授	成田 和信	哲学	
		教授	村上 信明	東洋史	
	日本文学 日本語学	教授	大塚 望	日本語学	
		教授	山岡 政紀	日本語学	
		教授	山中 正樹	近代日本文学	
	仏教学	教授	菅野 博史	東アジア仏教思想	
		教授	前川 健一	日本仏教思想	
		教授	松森 秀幸	東アジア仏教史	

● 教育学研究科

専攻	専修	職名	氏名	専門	備考
教育学	—	教授	牛田 伸一	教育方法学	
		教授	遠藤 幸彦	精神分析学	
		教授	鈴木 将史	教科教育	注 1
		教授	関田 一彦	学習教授法	
		教授	園田 雅代	臨床心理学	注 1
		教授	田村 修一	学校心理学	注 1
		教授	富岡 比呂子	教育心理学	
		教授	舟生 日出男	教育工学	

IV その他

1. 奨学金制度

* 日本学生支援機構

《出願資格》

人物・学業成績ともに特に優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するには、日本学生支援機構の奨学金の貸与が必要であると認められる者に限ります。

なお、標準（最短）修業年限を超えて在学する者及び留学生は出願資格がありません。

《奨学金の概要》

種 類		貸与月額	貸与 始期	貸与期間
博士後期課程	第一種 (無利子)	80,000 円、122,000 円	4 月	3 年間
	第二種 (有利子)	5 万・8 万・10 万・13 万・15 万から選択		

(2020 年度参考)

2. 創価大学牧口記念教育基金会大学院生奨学金【給付型】

本学の文系・理系大学院が、建学の精神に立脚した優れた研究者と高度専門職業人等の輩出によって人類社会により一層貢献することを目的に、本学大学院生で、人物、学業成績ともに優秀であると認められる者に奨学金が給付される。

《出願資格》

人物、学業成績ともに優秀で、本学大学院博士課程または修士課程に所属する大学院生とする。（学内の他の給付奨学金採用者は、対象から除く）

《給付額》

奨学金の給付は入学時 1 回限りとし、春セメスターに 20 万円を一括給付する。

《給付額》

当該年度春セメスターの入学生と、前年度秋セメスターの入学生のなかで、入試成績が優秀であったものを、研究科・専攻・課程別の採用数に従って選考する。

3. 教育職員免許状

大学において、一種免許状の所要資格を有する者が、博士前期課程を修了し、所定の単位を修得した場合、申請により専修免許状を取得することができます。

《免許状の種類と教科》

研 究 科	専 攻	免 許 状 の 種 類 と 教 科
文学研究科	英文学専攻	中学校教諭専修免許状 英語
		高等学校教諭専修免許状 英語
	国際言語教育専攻 国際言語教育専攻	中学校教諭専修免許状 国語
		高等学校教諭専修免許状 国語
		中学校教諭専修免許状 英語
		高等学校教諭専修免許状 英語

4. 既修得単位の認定及び在学期間の短縮について

入学前に他大学院等で修得した単位は、研究科委員会において教育研究上有益と認められた場合、15単位を超えない範囲で当該研究科の修了単位数に加えることができます。また、博士前期課程及び修士課程においては、その認定単位数及びその修得に要した期間等を勘案して、1年間を上限に在学期間を短縮できる場合があります。詳細は、入学後大学院係までお問い合わせください。

大学院教員の紹介

●経済学専攻

職名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	浅井 学	金融資産リスクのモデル化と推定、検定	筑波大学 社会工学研究科 博士課程修了 博士(社会経済)	時系列分析 計量ファイナンス
教授	勘坂 純市	比較農業制度分析	東京大学 経済学研究科 博士後期課程満期退学 博士(経済学)	数量経済史・比較制度分析
教授	神立 孝一	1.日本の近世村落における経済構造 2.近世・近代の歴史史料の保存と管理	創価大学 経済学研究科 博士後期課程満期退学 博士(経済学)	近世日本経済史・情報知識学・史料管理学
教授	國島 弘行	アメリカにおける経営管理論の歴史的展開 日米企業におけるコーポレートガバナンスと労働問題の展開	明治大学大学院 経営学研究科 博士後期課程満期退学 商学修士	経営管理論
教授	栗山 直樹	1.国際労働基準と人的資源管理 2.グローバル化における社会的側面 3.企業の社会的責任と労働	創価大学 経済学研究科 博士後期課程満期退学 博士(経済学)	人的資源管理論・国際労働問題
教授	齋藤 之美	地域経済統合の理論的研究	アイオワ州立大学 経済学専攻 博士課程修了 PhD	国際貿易
教授	杉本 一郎	歴史経済統計推計と実証分析 対象地域 英領期マラヤ 英領期ビルマ	マラヤ大学 高等研究所 博士課程修了 Ph.D.	数量経済史
教授	高木 功	1.Well-Being(よき生)の研究 2.アジア経済研究 3.ASEAN統合	創価大学 経済学研究科 博士後期課程満期退学 経済学修士	開発経済学 世界経済論 アジア経済論
教授	中村 みゆき	1.シンガポールの資本市場と金融制度 2.政府系ファンドの投資戦略 3.間接型直接金融(投資ファンド)研究 4.CSRと資本市場(ソーシャルファイナンス)研究	九州大学大学院 経済学研究科 博士後期課程満期修了 博士(経済学)	コーポレートファイナンス、証券市場論
教授	平岡 秀福	1.企業価値を測定するモデルと企業価値を向上させる管理会計システムの研究(事業評価、ブランド価値、環境会計など) 2.価値創造経営の研究	筑波大学 経営・政策科学研究科 修士課程修了 博士(経営学)	管理会計・原価計算・コスト・マネジメント 財務分析

●法律学専攻

職 名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	朝賀 広伸	環境法政策に関する研究 環境アセスメントに関する研究	創価大学法学部卒業 明海大学大学院不動産学研究 科博士後期課程修了 博士（不動産学）	行政法・環境法
教授	飯田 順三	1.国際法の法的性格 2.国際人権規範の国内実施 3.アジアの国際法受容発展史	英国ブリストル大学 博士課程修了 Ph.D.	国際法、国際人権法
教授	尹 龍澤	東アジア行政救済法の研究	創価大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士(法学)	行政法及び憲法
教授	加賀 譲治	1.証券相場操縦規制に関する研究 2.証券不公正取引規制の研究	創価大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士(法学)	企業法・金融商品取引法
教授	黒木 松男	我が国におけるコーポレート・ ガバナンスの在り方 地震保険の再構築に向けて	創価大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士(法学)	商法（会社法・保険法）
教授	小嶋 明美	1.日中民事手続の比較研究 2.裁判所の役割と裁量	早稲田大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士（学術）	民事訴訟法 中国法
教授	小島 信泰	1.日本近世寺院法 2.国制史 3.史料学	創価大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士(法学)	日本法制史
教授	土井 美德	1.イギリスの立憲主義と保守主 義の研究 2.現代政治理論の研究（ラディ カル・デモクラシーとグローバ ル・デモクラシー）	早稲田大学 政治学研究科 博士後期課程満期退学 政治学博士	政治学 政治史 政治哲学
教授	松田 佳久	物権的期待権の研究 法定地上権の研究	関東学院大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 法学博士	民法
教授	宮崎 淳	水法の総合的研究	創価大学 法学研究科 博士後期課程満期退学 博士（法学）	水法および民法
教授	山田 隆司	1.マス・メディアに関する法的 問題の研究 2.憲法判例の形成過程の研究	大阪大学法学研究科 博士後 期課程修了 博士（法学）	憲法、メディア法

●英文学専攻

職 名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	大野 久美	1.ユージン・オニール研究 2.20世紀アメリカ演劇研究 3.演劇理論	大谷女子大学 文学研究科 博士後期課程満期退学 博士（文学）	・主に、ユージン・オニールの劇作品をフロイト、ユング心理学、ニーチェの哲学、東洋思想の角度から多角的に分析、研究している。 ・ギリシア劇などの古典や舞台芸術にも関心をもっている。
教授	寒河江光徳	ロシア文学 ロシア・モダニズム、ウラジーミル・ナボコフの作品研究	東京大学 文学部スラヴ語スラヴ文学科 東京大学 人文社会系大学院欧米系文化研究専攻博士課程修了 文学（博士）	スラヴ語スラヴ文学専門分野
教授	高橋 正	日英語比較対照研究 英語法助動詞・モダリティの研究と日本語との対照研究	創価大学 文学研究科 博士後期課程満期退学 文学修士	認知言語学・プラグマティクス・対照言語学
教授	藤本 和子	現代英語の語法・文法における変化の研究、言語教育のための英文法研究、学習者用英語辞典分析	創価大学 文学研究科 博士後期課程修了 博士（英文学）	英語学、英語辞書学
教授	Richmond Stroupe	Student motivation and expectations; Critical thinking; Participatory management; Learner attitudes and perceptions	University of Southern California School of Education Doctor of Philosophy (PhD) Administrative Policy and Planning; International Comparative Education	Curriculum development; International comparative education; Leadership and professional development
教授	Paul Horness	Understanding and developing assessment tools in second language acquisition; Enhancing the study abroad experience; International Relations	Temple University, Doctor of Philosophy (PhD) in SLA Education. Temple University, MS. Ed. in Teaching English to Speakers of Other Languages. California State University Fullerton, Master of Arts in Political Science.	Assessment, study abroad

●社会学専攻

職 名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	井上 大介	ラテン・アメリカ民衆文化	メキシコ国立自治大学 人類学研究科 博士課程修了	文化人類学、宗教人類学
教授	江口 満	1. トルストイ思想 2. 「コミュニケーション」の視 点から見たロシア語教育	ロシア科学アカデミー 哲学研究所 倫理学研究科修了 Ph.D（哲学） 創価大学文学研究科 博士後期課程満期退学	1. ロシア倫理思想 2. 日露言語コミュニケーション
教授	小林 和夫	日本占領期ジャワにおける大政 翼賛運動の形成・発展過程 ポスト・スハルト期における人 間・社会開発と地域住民組織の 動態	東京都立大学 都市科学研究科 博士課程 単位修得退学 博士（都市科学）	歴史社会学 インドネシア地域研究
教授	高橋 強	1.近代日中文化交流研究 2.比較家族制度研究	創価大学 法学研究科 博士前期課程修了 法学修士	法社会学、家族法学
教授	林 亮	国際関係理論・現代中国国際関 係 東アジア共同体・アジア太 平洋地域の安全保障 知識情報 革命論	創価大学 文学研究科 博士後期課程満期退学 博士（社会学）	国際関係論 安全保障
教授	森 幸雄	都市のシンボル性 社会調査の方法 地域調査	創価大学 文学研究科 博士後期課程満期退学 文学修士	都市社会学 社会調査法

●人文学専攻

職 名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	伊藤 貴雄	カント哲学の影響作用史 ①形 而上学編（ショーペンハウアー 等）、②倫理学編（フィヒテ 等）、③美学編（シラー等）、 ④人間学編（ペスタロッツ等）	創価大学文学研究科 博士後期課程修了 博士（人文学）	哲学 思想史
教授	大塚 望	1.現代日本語動詞の形式性 2.現代日本語の類義語の相違	筑波大学大学院 文芸言語研究科 博士課程中途退学 博士（言語学）	日本語学 日本語教育学
教授	菅野 博史	中国仏教思想の研究。特に、南 北朝・隋・唐の大乗經典の注釈 書の研究。	東京大学 人文科学研究科 博士後期課程満期退学 博士（文学）	中国仏教思想、とくに、『法 華經』、『維摩經』、『涅槃 經』の注釈書の研究、南北朝 仏教思想、天台宗、三論宗の 研究をしている。
教授	坂井 孝一	1.鎌倉時代政治史 2.文学・芸能を中心とした日本 文化史	東京大学 人文科学研究科 博士後期課程満期退学 文学修士	平安末から鎌倉中期にかけて の政治史・文化史。文学・芸 能に対する歴史学的視角・手 法による分析。
教授	季武 嘉也	1.大正時代史 2.近代日本の政党と選挙	東京大学 人文科学研究科	明治維新から第2次世界大戦 までのいわゆる日本近代史を

			博士後期課程満期退学 博士(文学)	専門とする。特に、中央・地方を含めた総体的な歴史像の形成を模索している。
教授	成田 和信	1. 19世紀から現代にいたる英語圏の倫理学 2. 自由、幸福、愛に関する哲学的分析	ミネソタ大学大学院 哲学科 博士課程修了 (PhD in Philosophy)	倫理学
教授	福谷 茂	1. カント哲学 2. 形而上学史 3. 日本哲学史	京都大学 文学研究科 博士後期課程修了 博士(文学)	西洋近世哲学史
教授	前川 健一	1. 古代・中世を中心とする日本仏教の教理史 2. 生命倫理を中心とする仏教の倫理思想 3. 法華経の成立論・享受史	東京大学 人文社会系研究科 博士課程修了 博士(文学)	仏教学
教授	松森 秀幸	中国仏教思想研究。特に唐代における大乘經典の注釈書の研究。	創価大学文学研究科 博士後期課程修了 博士(人文学) 中国人民大学哲学院宗教学系 博士課程修了 哲学博士	仏教学(中国仏教)
教授	村上 信明	・満洲語・漢語文献を用いた清朝史研究 ・清朝の旗人官僚に関する研究 ・清朝の対チベット政策研究	筑波大学 人文社会科学研究科 博士課程修了 博士(文学)	歴史学(東洋史)
教授	山岡 政紀	現代日本語文法。対人的モダリティを文機能として捉え直し、語用論や発話行為論の知見を加えた発話機能論の理論構築に取り組んでいる。	筑波大学 文芸言語研究科 博士後期課程満期退学 博士(言語学)	言語学、現代日本語学、発話機能論
教授	山中 正樹	1. 川端康成の<文学> 2. 近代日本語小説における<時空間>と<語り> 3. 国語教育における<小説>の教材価値 4. 第三項論と<世界認識>	名古屋大学大学院 文学研究科 博士後期課程満期退学 博士(文学)	近代日本文学 国語教育

●教育学専攻

職 名	教員名	主な研究テーマ	出身大学・最終学歴	専門分野
教授	牛田 伸一	・一般教授学と一般教授学の関係に関する研究 ・伝統的な教授学の鍵概念の理論的な展開に関する研究(教育的教授、教育的タクトなど) ・伝統的な教授学の鍵概念の実践的な展開に関する研究(改革教育学志向の学校改革の構想と実践の研究)	創価大学文学研究科 博士後期課程単位取得退学 博士(教育学)	教授学 ドイツ教育学
教授	遠藤 幸彦	境界性パーソナリティ障害の入院治療 精神力動フォーミュレーション	日本医科大学 大学院医学研究科 博士後期課程修了	精神分析学 思春期青年期精神医学 学校臨床

		思春期臨床	博士(医学)	
教授	鈴木 将史	1.確率過程論・確率微分方程式論 2.算数・数学教育における身近な教材の活用 3.発展途上国の数学教育と教育支援 4.江戸期の算における数学教育カリキュラム	東京大学 理学系研究科 博士課程満期退学 理学修士	数学（確率論） 数学教育学
教授	関田 一彦	1.「協同」の持つ教育的効用に関する研究 2.協同教育の実践的研究（授業モデルの提案）	イリノイ大学 教育学専攻 博士課程修了 Ph.D in Education	教育心理学・教育方法
教授	園田 雅代	1.カウンセリング・心理療法の実践的研鑽とその理論的構築 2.自尊感情ならびに自他相互尊重の意識を育成する自己表現トレーニング 3.個人ならびに家族の生涯発達論	東京大学 教育学研究科 博士後期課程修了 博士（医学）	臨床心理学（クライアント中心療法をベースに家族療法 ・コミュニケーションスキルトレーニングなどを活用）・ アサーション（自己表現）トレーニング
教授	田村 修一	1.教師の被援助志向性 2.教職志望者の被援助志向性 3.「チーム援助」の志向性と遂行能力を高める教員養成プログラムの開発 4.「チーム援助」を促進できるリーダー教員育成プログラムの開発	筑波大学人間総合科学研究科 博士後期課程修了 博士（心理学）	学校心理学 カウンセリング心理学 教育心理学
教授	富岡比呂子	子どもの自己概念・自尊感情の発達 児童期・青年期の学校適応感 文化と自己形成 初等教育の日米比較	創価大学教育学部卒業 カリフォルニア大学（UCLA）大学院 博士課程教育学専攻修了 教育学博士（Ph.D in Education）	教育心理学 文化心理学
教授	舟生日出男	1. 集散的創造活動を通じた多声的なアイデア生成を支援するシステムの開発と実践的評価（XingBoard） 2. 創発的分業支援システムの開発と教育実践（Kneading Board） 3. 多声的な思考を促進するためのマンガ表現法の教育実践	東京理科大学基礎工学研究科 博士後期課程 単位取得退学 博士（工学）（東京理科大学）	教育工学